

# JR東海労なごや

2024年10月27日No.1242  
JR東海労名古屋地方本部  
発行者：松山 文成  
編集者：教 宣 部

## JR東海労東海地区分会 第5回分会大会開催



10月3日、JR東海労東海地区分会は名古屋市牧野コミュニティーセンターにおいて第5回定期分会大会を開催しました。10月とはいえ、まだまだ残暑の残る中での開催となりました。

大会は多くの組合員参加の中で御辺組合員の議長の下に開催しました。冒頭、今年5月に帰

らぬ人となった初代分会長松枝祐治さんに黙祷を捧げました。その後、加藤正利分会長が挨拶を行いました。「昨年12月の山下雄次さんの勇気ある加盟」「世界では戦争が続いている。多くの人が殺害されている。力の強いもの声の大きいものが世の中を支配していく。自分たちのみが正しいという考え方を改めない限り戦争の歴史は続いていく」「職場では若い社員の退職が止まらない。業務改革は社員確保が難しい時代だから効率化していくと説明されているが、現場での時代錯誤の労務施策によりやめていく社員も多にいる」「CMCにおいても業務量は日々増大しているが、現場管理者は元JRの上を見るのが上手い管理者ばかりで社員確保が大変だ」「社員に優しくない会社は生き残れない」「9月12日のJR総連での除名処分について」話されました。

その後、来賓である畑野本部副委員長、松山地本委員長から挨拶を受けました。時間が足りないほどの質疑を行い大会は成功に終わりました。

なお、加藤分会長は今年60歳を迎えました。本部より記念品と賞状が届き、松山委員長から手渡されました。さらに健康に留意して分会長の重任を果たしていくことを参加者全員で伝えました。



人間性を磨き、何が正しいかしっかり

判断する自分を磨き、

東海地区分会発展のために現場から闘いを進めよう